

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(2/7)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
グリーンアジア国際戦略総合特区 (福岡県、北九州市、福岡市)	正	4.8	5.0 進捗度 ・当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高 114%	4.5 規制の特例等 ・70MPa水素スタンドに対応した技術上の基準や例示基準の整備 等 財政支援等 ・アジア低炭素化センター(環境ビジネスのアジア展開支援) 等 地域独自の取組 ・不動産取得税の課税免除 等	4.8	<p>・計画内容もよくまとまっており、順調に実績を上げていると評価できる。</p> <p>・地域独自の財政支援は素晴らしいが、将来の自律に向けた工夫がほしい。</p> <p>・財政措置等で幅広いグリーンビジネスの推進を実現しているが、規制緩和が水素ステーションに限られているなど、横断的・包括的な取組を評価することも必要と考えられる。</p>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。